

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-151392 (P2020-151392A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-55670 (P2019-55670)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予め定められた判定契機に基づいて所定の移行判定を実行する移行判定手段と、
前記所定の移行判定の結果が特定結果となった場合、遊技状態を所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる移行手段と、

所定の可変入球手段を遊技球が入球不可又は入球しにくい第 1 態様から遊技球が入球可能又は前記第 1 態様よりも入球しやすい第 2 態様とし、その後、前記 1 態様とする切換制御を実行する切換制御手段と、
を備え、

所定の場合に、前記切換制御が実行される特定遊技を実行することが可能に構成されており、

特定遊技の実行中に特定個数の遊技球が可変入球手段に入球した場合に当該実行中の特定遊技を終了させることが可能な終了手段と、

前記特定個数が第 1 個数とされる第 1 特定遊技が実行されることを可能とする第 1 手段と、

前記特定個数が前記第 1 個数とは異なる第 2 個数とされる第 2 特定遊技が実行されることを可能とする第 2 手段と、
を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

特定遊技の実行中に予め定められた所定条件が成立した場合、遊技者に特典を付与可能な特典付与手段を備え、

前記終了手段は、特定遊技の実行中に前記所定条件が成立した場合又は前記特典付与手段により特典が付与された場合、可変入球手段への遊技球の入球個数が前記特定個数に達しているか否かにかかわらず、当該実行中の特定遊技を終了させる手段を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記所定条件が成立することなく可変入球手段への遊技球の入球個数が前記特定個数に達した場合、前記特別遊技状態が終了するように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

遊技者が操作可能な操作手段を備え、

前記所定条件は、前記操作手段の操作に基づいて成立可能なものであることを特徴とする請求項 2 又は請求項 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段を備え、

可変入球手段に到達可能な態様で発射された遊技球が到達可能なように特定領域が設けられており、

遊技球が前記特定領域を通過した場合又は前記特定領域に到達した場合、前記所定条件が成立するように構成されていることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

所定の発射操作に基づいて遊技球を発射可能な発射手段を備え、

前記発射手段により発射された遊技球が特定領域を通過した場合又は前記特定領域に到達した場合、前記所定条件が成立するように構成されており、

第 1 発射操作により遊技球が発射された場合、前記特定領域に遊技球が到達可能又は到達しやすくなり、前記第 1 発射操作とは異なる第 2 発射操作により遊技球が発射された場合、前記特定領域に遊技球が到達不可又は前記第 1 発射操作の場合よりも到達しにくくなるように構成されていることを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 7】

前記第 1 発射操作により遊技球が発射された場合と、前記第 2 発射操作により遊技球が発射された場合とのいずれにおいても、可変入球手段に遊技球が到達可能なように構成されていることを特徴とする請求項 6 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記特別遊技状態にて実行可能な特定遊技のうち少なくとも 1 つの特定遊技について前記特定個数が報知されないようにすることが可能な構成であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

予め定められた判定契機に基づいて所定の移行判定を実行する移行判定手段と、

前記所定の移行判定の結果が特定結果となった場合、遊技状態を所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる移行手段と、

所定の可変入球手段を遊技球が入球不可又は入球しにくい第 1 態様から遊技球が入球可能又は前記第 1 態様よりも入球しやすい第 2 態様とし、その後、前記 1 態様とする切換制御を実行する切換制御手段と、

を備え、

所定の場合に、前記切換制御が実行される特定遊技を実行することが可能に構成されており、

特定遊技の実行中に特定個数の遊技球が可変入球手段に入球した場合に当該実行中の特定遊技を終了させることが可能な終了手段と、

前記特定個数が第 1 個数とされる第 1 特定遊技が実行されることを可能とする第 1 手段と、

前記特定個数が前記第 1 個数とは異なる第 2 個数とされる第 2 特定遊技が実行されることを可能とする第 2 手段と、

を備えていることを特徴とする。